

令和2年度教育後援会顕彰(秋季)受賞者一覧

優秀教育賞	1	<p><b>平 知宏 (たいら ともひろ) 大学教育研究センター 准教授</b></p> <p>平知宏氏は、言語理解に関する認知心理学・認知科学的研究の専門家として教育・研究を進めている。教育においては心理学、認知科学や教育学関連の科目を担当し、「学生自身が人間や社会との関連を自らの日常的な経験と関連づけながら深く考察できるようになること」や「教育という誰もが経験しうる題材をもとに、大学までの教育の在り方だけでなく、大学卒業後に教育が果たす役割を理解できるようになること」を目的とし、教育実践や教育方法の開発を行っている。また、授業においては①各回の内容の構造化と提示の徹底、②Webを介した学生の能動的学習環境の整備、③様々な媒体を用いた学生からの反応に対するフィードバックを実行するなど様々な工夫を行っている。また、平氏は教育改善に関する企画、提言に関する分析的業務や平成27年より本学に設立された副専攻制度の導入、入学者追跡調査などの全学的な教育に関する企画・運営にも関わっている。以上のように、平氏は教育実践や教育方法の開発、本学における全学的な教育に関する企画・運営における多大な貢献が高く評価された。</p>
	2	<p><b>渡辺 一志 (わたなべ ひとし) 都市健康・スポーツ研究センター 教授</b></p> <p>渡辺一志氏は、健康運動科学の専門家として教育・研究を進めている。教育においては、「健康・スポーツ科学科目」の講義「健康運動科学」や実習「健康運動科学実験実習、アーチェリー」などの全学共通科目を37年に渡り担当している。また、初年次学生の教育としての総合教育科目A「大阪市大でどう学ぶか」の中の「大阪市大で学ぶ(身体健康管理)」を担当し、さらに大学のCOC事業やCR副専攻の地域志向系科目、「都市と人間のコミュニティ防災(身近でできる防災対策)」も担当している。また、授業においては、授業内容の向上に努め、毎回コミュニケーションカードによる学生の意見をうけるなど双方向性の授業を継続的に実施している。さらに実験実習ではアクティブラーニングにより、学生が自身のデータを測定、分析することによって身体の仕組みを理解し、健康運動の実践法について講義しており多くの学生から高い評価を得ている。以上のように、渡辺氏は学生の健康やスポーツ教育における多大な貢献が高く評価された。</p>
優秀テキスト賞	1	<p><b>石田 佐恵子 (いした さえこ) 文学研究科 教授</b></p>
		<p>テキスト題目</p> <p>『基礎ゼミ メディアスタディーズ』</p>
		<p>著者名(または共著者名)</p> <p>石田佐恵子、岡井崇之</p>
		<p>発行年月日</p> <p>令和2年4月19日</p>
	2	<p><b>金子 幸弘 (かねこ ゆきひろ) 医学研究科 教授</b></p>
		<p>テキスト題目</p> <p>染方史郎の楽しく覚えず好きになる 感じる細菌学 x 抗菌薬</p>
		<p>著者名(または共著者名)</p> <p>金子 幸弘</p>
		<p>発行年月日</p> <p>令和2年2月10日</p>
	3	<p><b>高橋 英治 (たかはし えいじ) 法学研究科 教授</b></p>
		<p>テキスト題目</p> <p>ヨーロッパ会社法概説</p>
		<p>著者名(または共著者名)</p> <p>高橋 英治</p>
		<p>発行年月日</p> <p>令和2年8月20日</p>
	4	<p><b>羽生 大記 (はぶ だいき) 生活科学研究科 教授</b></p>
		<p>テキスト題目</p> <p>人体の構造と機能及び疾病の成り立ち “臨床医学” (南江堂)</p>
		<p>著者名(または共著者名)</p> <p>編集 羽生大記/河手久弥</p>
		<p>発行年月日</p> <p>令和元年11月1日</p>
	5	<p><b>松下 大輔 (まつした だいすけ) 生活科学研究科 教授</b></p>
		<p>テキスト題目</p> <p>建築のインテリアの本</p>
<p>著者名(または共著者名)</p> <p>松下 大輔</p>		
<p>発行年月日</p> <p>令和2年5月28日</p>		
6	<p><b>除本 理史 (よけもと まさふみ) 経営学研究科 教授</b></p>	
	<p>テキスト題目</p> <p>『きみのまちに未来はあるか?——「根っこ」から地域をつくる』</p>	
	<p>著者名(または共著者名)</p> <p>除本 理史・佐無 田光</p>	
	<p>発行年月日</p> <p>令和2年3月19日</p>	
		<p>授業科目名</p> <p>環境と経済、環境論</p>